



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月5日

上場会社名 大成ラミック株式会社
 コード番号 4994 URL <https://www.lamick.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 義成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 北條 洋史

TEL 0480-88-1158

四半期報告書提出予定日 2019年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,998	1.9	594	19.6	593	19.1	386	10.6
2019年3月期第1四半期	6,871	3.9	497	19.1	498	20.1	349	12.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 221百万円 (30.2%) 2019年3月期第1四半期 316百万円 (8.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	55.81	
2019年3月期第1四半期	50.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	29,977	20,447	66.2	2,866.12
2019年3月期	29,712	20,484	66.8	2,865.02

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 19,850百万円 2019年3月期 19,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		33.00		37.00	70.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		33.00		37.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,680	2.3	1,660	14.3	1,690	13.5	1,130	15.7	163.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	7,047,500 株	2019年3月期	7,047,500 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	121,502 株	2019年3月期	121,502 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	6,925,998 株	2019年3月期1Q	6,925,998 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員向け株式交付信託及び株式給付信託型ESOPの信託財産として保有する当社株式が2019年3月期1Q、2019年3月期及び2020年3月期1Qには29,578株を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られ、緩やかな景気回復基調にあるものの、通商問題の動向が世界経済に与える影響や金融資本市場の変動に留意する必要があると、依然として予断を許さない状況が続いております。

当軟包装資材業界におきましては、ライフスタイルの変化に伴う新たな包装形態の需要により底堅く推移いたしました。高止まり傾向が続いておりました原油価格は、中東の地政学リスクの高まりで今後も不透明化、また、天候不順による機会損失等の懸念があります。

このような状況下、当社グループのビジネスモデルである「フィルム・液体充填機DANGAN・オペレーション」をワン・ストップで提供する体制を一層推進するため、国内では仙台営業所を移転しDANGANデモルームを併設、海外では東アジアでのDANGAN販売台数の増加に伴い韓国支店を開設いたしました。また、販売面では昨年より取り組んでおりました販売価格の見直し効果が徐々に表れ、生産面では働き方改革に伴う生産体制の見直しやコスト削減活動等により、収益性の改善に貢献いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は6,998百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益は594百万円（同19.6%増）、経常利益は593百万円（同19.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は386百万円（同10.6%増）となりました。

部門別概況は以下のとおりであります。

[包装フィルム部門]

国内市場においては、5月の大型連休を控えた需要増加により夏物商品の出足が好調となりました。海外市場においては、前期苦戦を強いられていたASEANの状況が改善し全体で前年同四半期の売上を上回りました。その結果、売上高は6,388百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

[包装機械部門]

包装機械部門においては、底堅い設備投資ニーズに対し国内外の展示会への出展及び新規顧客の開拓等、積極的な営業活動に取り組んだ結果、売上高は610百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ264百万円増加し、29,977百万円となりました。

このうち流動資産合計は、前連結会計年度末と比べ522百万円増加し、15,071百万円となりました。これは主に、仕掛品が85百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が516百万円、現金及び預金が81百万円増加したことによるものです。

固定資産合計は、前連結会計年度末と比べ257百万円減少し、14,905百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具(純額)が91百万円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が88百万円、建物及び構築物(純額)が78百万円減少したことによるものです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末と比べ301百万円増加し、9,529百万円となりました。

このうち流動負債合計は、前連結会計年度末と比べ326百万円増加し、8,315百万円となりました。これは主に、賞与引当金が225百万円、未払法人税等が163百万円減少した一方で、短期借入金が293百万円、買掛金が273百万円、流動負債のその他に含まれる預り金が126百万円増加したことによるものです。

固定負債合計は、前連結会計年度末と比べ25百万円減少し、1,213百万円となりました。これは主に、長期借入金が35百万円減少したことによるものです。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ36百万円減少し、20,447百万円となりました。これは主に、利益剰余金が129百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が116百万円、非支配株主持分が43百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2019年5月13日付「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」記載の通期予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,351,487	3,432,870
受取手形及び売掛金	7,438,454	7,955,203
商品及び製品	2,210,858	2,196,814
仕掛品	966,900	881,711
原材料及び貯蔵品	335,429	326,301
その他	246,053	278,799
流動資産合計	14,549,184	15,071,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,387,426	6,309,189
機械装置及び運搬具(純額)	2,219,377	2,127,547
土地	4,950,810	4,905,333
その他(純額)	528,677	562,408
有形固定資産合計	14,086,292	13,904,479
無形固定資産		
のれん	8,250	7,180
その他	185,688	174,065
無形固定資産合計	193,938	181,246
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	93,265	88,930
その他	800,235	741,426
貸倒引当金	△10,715	△10,715
投資その他の資産合計	882,786	819,642
固定資産合計	15,163,017	14,905,367
資産合計	29,712,201	29,977,068

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,444,781	4,718,156
短期借入金	163,140	456,180
1年内返済予定の長期借入金	998,685	999,113
未払法人税等	320,719	156,927
賞与引当金	469,751	244,276
役員賞与引当金	24,930	6,232
株主優待引当金	72,388	18,543
その他	1,494,927	1,716,376
流動負債合計	7,989,323	8,315,806
固定負債		
長期借入金	964,628	929,007
執行役員退職慰労引当金	4,096	—
従業員株式給付引当金	29,508	25,708
役員株式給付引当金	30,360	32,085
退職給付に係る負債	48,682	51,191
その他	161,576	175,528
固定負債合計	1,238,852	1,213,520
負債合計	9,228,175	9,529,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,426,246	3,426,246
資本剰余金	3,403,601	3,403,601
利益剰余金	13,126,852	13,256,045
自己株式	△298,235	△298,235
株主資本合計	19,658,464	19,787,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,179	105,584
繰延ヘッジ損益	△45	△57
為替換算調整勘定	92,944	△23,160
退職給付に係る調整累計額	△19,386	△19,239
その他の包括利益累計額合計	184,691	63,127
非支配株主持分	640,869	596,955
純資産合計	20,484,026	20,447,740
負債純資産合計	29,712,201	29,977,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	6,871,632	6,998,776
売上原価	5,220,972	5,262,803
売上総利益	1,650,659	1,735,973
販売費及び一般管理費	1,153,084	1,140,977
営業利益	497,575	594,995
営業外収益		
受取利息	7,707	4,085
受取配当金	3,759	4,961
物品売却益	6,895	4,501
受取補償金	2,136	1,663
雑収入	2,278	4,294
営業外収益合計	22,777	19,506
営業外費用		
支払利息	1,451	2,751
売上割引	290	303
支払補償費	376	3,511
為替差損	19,717	13,793
雑損失	—	216
営業外費用合計	21,836	20,576
経常利益	498,516	593,925
特別損失		
固定資産除却損	10,471	612
特別退職金	—	22,151
特別損失合計	10,471	22,764
税金等調整前四半期純利益	488,045	571,161
法人税、住民税及び事業税	61,870	109,106
法人税等調整額	101,958	93,315
法人税等合計	163,828	202,421
四半期純利益	324,216	368,739
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,212	△17,809
親会社株主に帰属する四半期純利益	349,428	386,549

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	324,216	368,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,920	△5,594
繰延ヘッジ損益	△37	△11
為替換算調整勘定	△24,915	△142,209
退職給付に係る調整額	1,677	147
その他の包括利益合計	△7,355	△147,668
四半期包括利益	316,860	221,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	349,166	264,984
非支配株主に係る四半期包括利益	△32,305	△43,913

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、包装フィルム及び液体充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(役員向け株式交付信託及び株式給付信託型E S O Pについて)

当社は、2015年6月17日開催の第50回定時株主総会において、中長期的な業績向上と企業価値の増大への貢献意欲を高めることを目的として、取締役(社外取締役を除く)を対象に役員向け株式交付信託を、また、2015年8月3日開催の取締役会において、一定以上の職位の従業員を対象に株式給付信託型E S O Pを決議し、導入いたしました。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として信託を設定し、信託を通じて当社株式の取得を行い、対象者に給付する仕組みであります。

役員向け株式交付信託については、取締役に対し、取締役株式交付規程に従って、その役位及び経営指標に関する数値目標の達成度に応じて付与されるポイントに基づき、信託を通じて当社株式を交付する仕組みであります。

株式給付信託型E S O Pについては、一定以上の職位の従業員に対し、従業員株式給付規程に従って、その職位に応じて付与されるポイントに基づき、信託を通じて当社株式を給付する仕組みであります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により、純資産の部に自己株式として計上しております。

自己株式の帳簿価額及び株式数

前連結会計年度	88,010千円、29,578株
当第1四半期連結会計期間	88,010千円、29,578株